

1. ICT委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、豊橋ICT委員会及び名古屋ICT委員会を中心に行っている。ICT企画会議のもと、豊橋ICT委員会および名古屋ICT委員会を設置し、豊橋および名古屋（車道メディアゾーン含む）情報メディアセンターの事業を推進する。

2008年10月から2009年9月に開催された各ICT委員会の議事は次の通りである。

豊橋ICT委員会

2008年度

◇第3回 11月6日

1. 2009年度実習室利用アンケートについて
2. 2009年度予算について
3. 2008年度予算（検疫ネットワークシステム）について
4. ウィルスワクチンソフトの案内(教員用)について
5. その他

報告事項

1. 2009年度教育学術コンテンツ（学術DB）について
2. LMSの業者決定について
3. 豊橋情報メディアセンター貸出用ノートPCの事故について
4. 学生用メールサーバー（moon）の障害について
5. その他

◇第4回 12月18日

1. 2009年度予算について
2. 第4回 情報活用コンテストの審査について
3. COM編集委員の選出について
4. 2009年度豊橋情報メディアセンター開館時間（案）について
5. その他

報告事項

1. LMS特別委員会発足について
2. メディア教育開発室カラープリンターの運用について（お伺い）
3. その他

追加議題

1. 2009年度 教育学術コンテンツ（教育学術情報データベース等の開発）の審査について
2. 2009年度情報システム課経常経費予算申請案について

◇第5回 2月24日

1. 2008年度ソフトウェア予算について
2. センター実習室ソフトウェアのバージョンアップについて
3. ホスト接続申請書の更新手続きについて
4. 印刷ポイントについて
5. ユーザIDの社会人利用について

報告事項

1. 教育学術データベース開発補助について
2. LMS特別委員会について
3. 事務職員によるシステムの利用について
4. 新名古屋校舎における情報環境の整備について

追加議題

1. 名古屋校舎メディアゾーンの開館時間の再審議について

名古屋ICT委員会

2008年度

◇第3回 11月12日

1. 名古屋情報メディアセンターの体制について
2. 2009年度予算について
3. 教員へのウィルス対策ソフトの案内について
4. その他

報告事項

1. LMSの業者決定について
2. 2009年度教育学术コンテンツについて
3. 学生用メールサーバ（moon）の障害発生について
4. E201教室教卓の鍵の紛失について
5. 豊橋校舎貸出ノートPCでの事故について
6. 情報メディアセンター利用のマナーについて
7. その他

◇第4回 12月18日

1. 2009年度予算申請について
2. その他

報告事項

1. LMS特別委員会発足について
2. 教育学术データベース開発について
3. その他

◇第5回 2月12日

議題

1. 開室時間の変更について

2. 実習室アンケートについて
3. 印刷ポイントについて
4. ホスト接続申請書の更新手続きについて
5. その他

報告事項

1. 教育学术データベース開発補助について
2. 実習室設備等への要望調査について
3. 事務職員によるシステムの利用について
4. その他

2009年度

◇第1回 7月16日

1. 実習室アンケートについて
2. 貸出ノートパソコンについて
3. 下半期の業務委託体制について
4. その他

報告事項

1. 実習室秋学期時間割について
2. 夏季休暇期間中の開館について
3. 計画停電について
4. LMS運用特別委員会からの報告
5. COMについて
6. その他

合同ICT委員会

2009年度

◇第1回 5月7日

1. 委員について
2. LMS運営特別委員会について

報告事項

1. 私情協総会について

2. 情報メディアセンター主催行事

(2008年10月～2009年9月)

◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月15日(水)	電子メール講習会	424教室	2人
10月20日(月)	パワーポイント講習会	424教室	12人
10月29日(水)	電子メール講習会	413教室	11人
11月12日(水)	電子メール講習会	413教室	1人
11月17日(月)	パワーポイント講習会	424教室	4人
4月29日(水)	電子メール講習会	413教室	4人
5月15日(金)	電子メール講習会	413教室	5人
6月3日(水)	パワーポイント講習会	523教室	22人
9月29日(火)	電子メール講習会	413教室	3人

◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月7日(火)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	3人
10月7日(火)	Word 講習会	第2実習室	1人
10月15日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	5人
10月16日(木)	Excel 講習会	第2実習室	3人
10月21日(火)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
10月29日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	3人
11月4日(火)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
11月12日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
11月24日(月)	Word 講習会	第2実習室	1人
11月26日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第1実習室	1人
1月14日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第1実習室	1人
4月7日(火)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第3実習室	1人
4月8日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第3実習室	2人
4月10日(金)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
4月13日(月)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第3実習室	3人
4月14日(火)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
4月15日(水)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	3人
4月17日(金)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第1実習室	3人
4月20日(月)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第3実習室	3人
4月21日(火)	e-Learning 講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
4月22日(水)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
4月27日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第3実習室	4人
4月29日(水)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
5月1日(金)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
5月8日(金)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
5月11日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
5月15日(金)	Excel講習会	第3実習室	2人
5月18日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第3実習室	1人
5月19日(火)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第3実習室	1人
5月20日(水)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
5月20日(水)	PowerPoint講習会	第1実習室	4人
5月26日(火)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
6月2日(火)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
6月5日(金)	PowerPoint講習会	第2実習室	1人
6月24日(水)	Excel講習会	第2実習室	6人
7月1日(水)	PowerPoint講習会	第2実習室	2人
7月2日(木)	Excel講習会	第2実習室	1人
7月7日(火)	Word講習会	第2実習室	2人
7月8日(水)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
7月21日(火)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
9月15日(火)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	1人
9月16日(水)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第2実習室	2人
9月28日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	第3実習室	1人

◆車道校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月6日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	1人
10月27日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	2人
11月28日(金)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	1人
12月15日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	1人
4月14日(火)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	2人
5月2日(土)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	2人
5月18日(月)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	1人
7月17日(金)	e-Learning講座受講ガイド講習会	K802	2人

第4回 豊橋情報メディアセンター主催 情報活用コンテスト

2008年度は、情報活用コンテストも第4回目となり、昨年度同様多数の応募があり、技術の向上が見られました。

開催概要

募集期間 2008年10月1日から2008年11月14日

参加資格 愛知大学学部生・短期大学部生・及び大学院生

(名古屋校舎, 車道校舎の学生も応募可能)

- 応募部門
- 1) Webページ
 - 2) プログラミング (VBA, Javaなど)
 - 3) ロゴ (愛知大学, 学部, ゼミなど)
 - 4) 写真加工
 - 5) 動画作成 (携帯電話でも可)
 - 6) 豊橋情報メディアセンターイメージキャラクター

- 応募総数
- 1) Webページ 5名
 - 2) プログラミング 1名 (3作品)
 - 3) ロゴ 4名
 - 4) 写真加工 7名 (8作品) 短大生35名
 - 5) 動画作成 2名
 - 6) キャラクター 4組 (5作品)

受賞者

- | | | |
|--------|--------------|------------------|
| 大賞 | 動画部門 | 吉村 真 (法学部4年) |
| 部門賞 | プログラミング部門 | 小澤 優 (経営学研究科2年) |
| | Webページ | 阿部 準也 (経済学部3年) |
| | 写真加工部門 | 河津 奈々穂 (短期大学部1年) |
| | イメージキャラクター部門 | 住野 紘子 (文学部4年) |
| | | 平林 智恵美 (文学部4年) |
| 審査員特別賞 | ロゴ部門 | 山内 裕子 (文学部3年) |

以 上

3. ICT委員会構成員

◆豊橋ICT委員（2009年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
豊橋情報メディアセンター所長	経 済 学 部	蔣 湧
委 員	文 学 部	中尾 充良
	経 済 学 部	湯川 治敏
	国際コミュニケーション学部	トーマス・M・グロース
	短 期 大 学 部	谷 彰

◆名古屋ICT委員（2009年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
名古屋情報メディアセンター所長	法 科 大 学 院	伊藤 博文
委 員	法 学 部	山本 未来
	経 営 学 部	岩田 員典
	現代中国学部	土橋 喜
	法 科 大 学 院	春日 修
	会 計 大 学 院	栗濱竜一郎

◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	事務情報システム係長	西脇 健
	教育研究情報システム係長	石原有希子
	S E	宮坂 昌樹
大岡 奏子		
豊橋情報メディアセンター事務室	係 長	宮部 浩之
名古屋情報メディアセンター事務室	係 長	秦 俊一郎

4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織	所長(任期)		システム沿革
		豊橋	名古屋	
1978				IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979				
1980	電子計算機センター	津村 善郎 (1980.4.1～1982.4.30)		
1981	電子計算機センター委員会			
1982		福田 治郎 (1982.5.1～1983.3.31)		
1983		福田 治郎 (1983.4.1～1985.3.31)		
1984				
1985		高橋 正 (1985.4.1～1987.3.31)		
1986				
1987		高橋 正 (1987.4.1～1989.3.31)		
1988				第1期教育研究情報システム稼動 1988.4～1991.3
1989	情報処理センター	藤田 佳久 (1989.4.1～1989.5.31)	浅野 俊夫 (1989.6.1～1990.9.30)	日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20)導入
1990	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会	藤田 佳久	浅野 俊夫	
1991		(1990.10.1～1992.9.30)		第2期教育研究情報システム稼動 1991.4～1994.3
1992		藤田 佳久	有澤 健治	
1993		(1992.10.01～1994.9.30)		
1994		樋口 義治	長谷部 勝也	第3期教育研究情報システム稼動 1994.10～1997.3(全校舎学内LAN敷設)
1995		(1994.10.01～1996.9.30)		
1996		樋口 義治	長谷部 勝也	
1997		(1996.10.01～1998.9.30)		第4期教育研究情報システム稼動 1997.4～2000.9(延長6ヶ月)
1998		宮沢 哲男	有澤 健治	
1999		(1998.10.01～2000.9.30)		
2000		小津 秀晴	田川 光照	4月 第5期教育研究情報システム稼動
2001		(2000.10.01～2002.9.30)		
2002		龍 昌治	坂東 昌子	
2003		(2002.10.01～2004.9.30)		
2004	情報メディアセンター	龍 昌治	坂東 昌子	4月 第6期教育研究情報システム稼動
2005	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会	(2004.10.01～2006.9.30)		
2006	情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議	龍 昌治	中尾 浩	
2007		(2006.10.01～2008.9.30)		
2008	ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会	蔦 湧	伊藤 博文	4月 第7期教育研究情報システム稼動
2009		(2008.10.01～2010.9.30)		

5. 自 己 紹 介

情報システム課 西脇 健

2008年5月から名古屋教学課より情報システム課に異動となり、現在に至っております。

名古屋校舎では教務課から学生課、その後は事務組織再編により教学課となった初年度まで勤務しておりました。

名古屋校舎では学生さんの対応が主な業務でしたが、車道校舎の情報システム課に異動してからは、事務情報システムを担当させていただいております。

情報システム課では、それまでの教学の業務とは全く異なるコンピュータ関連の業務となり、ほとんど情報システムの知識が無い状態からのスタートとなりましたので、現在でも日頃の対応で戸惑うことがあり、周囲の方々の協力を得ながらの毎日です。

以前は教学関係の部署で事務情報システムの1ユーザでしたが、情報システム課への異動で、そのシステムを管理・維持する側に立場が変わり、障害時の対応や機器の入れ替え作業を通して、事務情報システムは私の想像以上に複雑な仕組みで構成されていることを知りました。

私とコンピュータとの関わりとしては、私がかつて初めてパソコンと名のつくものに触れたのが中学生の時、簡単なプログラムが組める玩具程度のものでしたが、そのパソコンのRAMの容量は8キロバイトでした。少々無理な比較ですが、その頃の感覚から現在のICTの環境を比べると、比較にならない技術の進歩だと思います。

情報システムは不具合なく日夜を通して稼動していることが常態ですので、そのためにサーバなどの機器の定期的な入替や、日常的にシステムのメンテナンスをしておりますが、時にはシステムに障害が起きることがあります。こうした場合は障害の原因を特定して復旧にあたりますが、思い込みで対応すると全く別のところに原因があり、障害の復旧までに余計な時間を費やすことがあるため、復旧の際は先入観を持たず、あらゆる可能性を想定して対応することが必要であると感じています。

情報システム課員として至らないところもありますが、よろしく願いいたします。

この度、情報システム課の配属になりました大岡奏子と申します。今年度、愛知大学の事務職員に新卒で採用されたため、情報システム課が私の人生ではじめての所属課となります。

元々愛知大学の学生であった私にとって、愛知大学の教職員の方は身近な存在ではありましたが、情報システム課という存在は、正直なところ全くの無知でありました。学生時代、学内のパソコンを頻繁に利用してはありましたが、パソコンを利用できるのは当たり前近く、誰かの仕事の上で成り立っているという事実には気づきませんでした。

そのような私が情報システム課に配属になり、現在は学内のシステムの運用する側におります。学生の時分にはレポートを作成する際か、ネットショッピングの際にしか使わなかったパソコンとも、毎日接することとなりました。

初めは非常に戸惑う気持ちもありましたが、今はこれも何かの縁だと考えております。これまで人生で避けてきた情報という分野に、社会人1年目で携わることができることを、今後働く上での肥やしにできたらと考えています。

微力ながらも戦力となれるよう、日々努力していきます。今後ともご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

編集後記

おかげさまで「情報メディアセンター紀要 COM」のVol.20, No.1も無事に発刊を迎えることとなった。本号では論文4編に加え、今年度から新たに大学の正式なシステムとしてスタートしたLMS（Learning Management System）のMoodle特集として各授業における利用報告を9名の先生方に紹介していただき、非常に充実した内容となっている。投稿していただいた先生方にはこの場をお借りして改めて御礼申し上げたい。

さて、冒頭の「Vol.20」が示すようにCOM発行から20年目を迎えた。その意味もあってか情報メディアセンター長の伊藤先生からのご提案で歴代所長とシステム沿革を一覧表としてまとめることとなった（p.75参照）。1970年代のいわゆる汎用機の時代に始まり80年代の第1期から現在の第7期システムまでが一覧表として示されたのはこの資料が初めてではないかと思う。改めてセンターとしての歴史の長さを感じる。センターの名称も「電子計算機センター」から始まり、「情報処理センター」、「情報メディアセンター」に変更され、最近では単に「メディアセンター」と呼ばれるようになってきている。多分、名称の変化がその時代のセンターの役割を端的に表しているのではないか。つまり、「電子計算機」時代での主な役割はある限られた人たちによる汎用機を用いた統計処理や数値計算等であり、その後の「情報処理」時代にはPC（パーソナル・コンピュータ）の台頭によりこれまでの限られた利用方法から様々な分野での利用が広がり、実習室の整備による授業内での利用も開始された。さらにインターネットの普及によってコンピュータの利用方法がさらに広がり、様々なメディアをも扱うようになった「情報メディア」時代となり、今やコンピュータおよびネットワークが整備されていて当然なインフラになったことでコンピュータを利用することが特別なことでない「メディア」時代になったのではないかと思う。その時代時代によってセンターが提供するサービスは変化してきているが変わらないのはいつの時代も最先端あるいはそれに近い技術を研究・教育に活かせる環境を提供していくことであろう。今回の特集でも取り上げたLMSもまさにそのひとつであると言える。このようなスタンスを保つためにもこのセンターでは常に新しいことに目を向けて様々なことにチャレンジし、その経過や成果の報告の場として「COM」の存在があり続けて欲しいと願っている。個人的にはこれからはユビキタス、マルチメディア、オープンソースあたりがキーワードになるのではないかと期待している。

H.Y.

愛知大学情報メディアセンター紀要<COM> 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要<COM>は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員の推薦があるものに限る）
- (4) 編集委員会が認めたもの

2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に關係する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

3. 投稿原稿の種類

投稿された原稿は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) ソフトウェアレビュー
- (4) 情報教育フロンティア
- (5) 書評（新刊・古典）
- (6) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、プリントアウトしたものと電子ファイルの双方を提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。
図版等のファイル形式はjpegとする。
- (5) 提出ファイルは、Microsoft Wordまたはテキスト形式とする。
- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。

(7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所，電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は「愛知大学情報メディアセンター紀要＜COM＞ 執筆要項」に従って作成すること。

なお，投稿原稿はCOM編集委員会にて別紙「体裁見本」のフォーマットに統一する。

6. 校正

(1) 校正は著者校正を2回とする。

(2) 校正段階での内容の変更は，総ページ数が増えない範囲で行なうこと

7. 著作権

(1) 提出された論文の著作権は，原則として愛知大学情報メディアセンターに属し，無断で複製あるいは転載することを禁じる。

(2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は，著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害，名誉毀損，その他の問題が生じないように十分に配慮すること。

(3) 万一，執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ，第三者に損害を与えた場合，著者がその責を負う。

(4) 著作人格権は著者に属する。

(5) 本誌への掲載が確定した原稿は，愛知大学情報メディアセンターホームページにて公開するものとする。

(6) 投稿された原稿は，国立情報学研究所等へ登録される。

8. その他

(1) 別刷りは論文及び研究ノートに対し各30部作成し，著者代表者に無料で進呈する。

30部以上を希望する場合には有料とする。

(2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ:愛知大学情報システム課

TEL: 052-937-8120 (内線3101)

FAX: 052-937-8121

E-mail: Johosystem@ml.aichi-u.ac.jp

(別紙)

愛知大学情報メディアセンター紀要<COM> 執筆要項

1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

2. 原稿

- (1) 論文……和文の場合は5000文字程度，英文の場合は3500 words程度。
ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) 研究ノート……和文の場合は3000文字程度，英文の場合は3500 words程度。
ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) ソフトウェアレビュー……和文の場合は3000文字程度，英文の場合は3500 words程度。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) 情報教育フロンティア……和文の場合は3000文字程度，英文の場合は3500 words程度。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (5) 書評（新刊・古典）……和文の場合は900文字程度，英文の場合は600 words程度。ただし，図版等を挿入することはできない。
- (6) 学会動向……COMのフォーマットに従う。

3. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章，節，項，目などの立て方は，原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

4. 図・表・写真

図・表・写真は，本文中の適当な箇所に挿入すること。または，挿入箇所を明確にすること。

ただし，COM編集委員会にて挿入位置，サイズを変更する必要があるが，変更不可の場合は明記のこと。

(1) 表について

表の上部に「表○：表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

(2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○：図名」（○は図の一連番号）または「写真○：写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

5. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所の cinii 等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

6. 注・文献

注・文献の記載は、本文の後に1行空けてから「注・文献」という見出しを立て、その次の行から、注と文献とを一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い1) のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。記し方は次の例を参照にされたい(情報処理学会論文誌原稿執筆案内による)。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10 (1960).
- 2) Feldman, J. and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968).
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京 (1991).
- 4) Wilkes, M. V.: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York (1990).

以上

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕
Vol.20 No.1 第35号

2010年2月12日 印刷
2010年2月19日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター
〔COM〕編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(豊橋) 豊橋市畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)
FAX (0532) 47-4125

(名古屋) みよし市黒笹町清水370

〒470-0296 TEL (0561) 36-1117 (直通)
FAX (0561) 36-2781

(車道) 名古屋市東区筒井2丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (情報システム課直通)
FAX (052) 937-8121

印刷 株式会社荒川印刷

情報メディアセンター教育用パソコン 機種および設置台数

○豊橋校舎

設置場所		機種	台数
情報メディアセンター (4号館)	420教室	MintPC ridottos HITACHI FLORA 330W	70
	421教室	HP Compaq dc7700 SF	52
	423教室	HP Compaq dc7700 SF	58
	424教室	HP Compaq 6710b	50
	413教室	HP Compaq dc7700 SF	25
5号館	514教室	HP Compaq 6710b	25
	523教室	HP Compaq dc7700 SF	50
図書館棟1F	メディアゾーン	HP Compaq dc7700 SF	40
豊橋 計			370

○名古屋校舎

設置場所		機種	台数
情報メディアセンター	第1実習室	HP Compaq dc7700 SF	60
	第2実習室	HP Compaq 6710b	30
	第3実習室	HP Compaq 6710b	20
	オープンフロア	HP Compaq dc7700 SF	19
中央教室棟	マルチメディア教室	HP Compaq 6710b	60
東教室棟	E201教室	HP Compaq dc7700 SF	60
	E202教室	HP Compaq dc7700 SF	40
図書館棟2F	メディアゾーン	HP Compaq dc7700 SF	73
名古屋 計			362

○車道校舎

設置場所		機種	台数
メディアゾーン		HP Compaq dc5700SF	50
K802		HP Compaq 6720s	35
K804		HP Compaq 6720s	50
車道 計			135